

労働安全衛生

達成像2

基本的な考え方

アンリツは、企業行動憲章で「従業員の尊重」を掲げています。社員一人ひとりが、その資質を最大限に発揮できるよう、社員の健康と安全を第一に、快適で働きやすい職場や環境づくりを進めていくことが重要と考えています。

安全衛生・健康管理体制

国内アンリツグループでは、労働安全衛生法に基づく安全衛生管理体制を確立しており、施行令や細則においても、逸脱することなく遵守しています。さらにアンリツ(株)健康管理室に所属する産業医、産業カウンセラーを中心とする産業保健スタッフが、定期的な職場巡視や定期検診後の事後処置、リフレッシュトークやアドバイス等、グループ社員の健康確保と増進に向けたさまざまな取り組みや支援活動を行っています。

2016年度に労働安全衛生法が改正され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されたことから、化学物質による健康障害発生の防止にも取り組みを強化しています。

安全衛生・健康管理の主な取り組み



安全衛生委員会

- 安全衛生委員会での活動状況の確認や災害防止策の立案
- 機械設備の導入・移動・変更時および化学物質購入時の事前審査による災害リスク低減
- 階層別教育やリスクアセスメントなどの目的別研修を通じた安全衛生意識の高揚
- 作業環境測定や職場巡視による安全・安心で快適な職場づくり
- 健康診断(定期、特殊、雇入時、海外派遣者)の実施とフォローアップ
- 長時間残業者の問診票によるスクリーニングと産業医面談および健康確保措置の実施
- 生活習慣病予防や感染症対策を目的とする産業医講演会などの健康啓発活動
- メンタルヘルスケアを目的とする幹部層向け教育
- カウンセリング

働き方改革の取り組み

国内アンリツグループでは、長時間労働による健康障害発生防止の観点から、時間外労働の削減、深夜時間帯勤務の極小化、定時退社日運用の徹底などの全社共通マネジメント方針に基づく労働時間適正化施策を継続的に進めています。

さらに、「長時間労働＝仕事ができる」という考えはもはや過去のものであるという認識に立ち、2016年8月より「朝の活力とともに元気に明るく働く」方針を掲げ、始業時間出社の励行、19:00以降原則退社とし消灯を実施、会議時間の短縮・効率化の推進など施策を強化しており、生産性を向上させてイノベーションを起こし、企業価値向上へつなげることを目的とした働き方改革を推進しています。

TOPICS

健康経営優良法人
(ホワイト500)に
認定



アンリツ(株)は、経済産業省の「健康経営優良法人2017」において、定期健康診断・ワークライフバランス・健康増進・生活習慣予防対策・メンタルヘルス制度・施策の実施状況調査により選定基準をクリアしたことから大規模法人部門(ホワイト500)に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもとに、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。評価項目は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」で用いる評価のフレームワークによる、①経営理念 ②組織体制 ③制度・施策実行 ④評価・改善 ⑤法令遵守・リスクマネジメントからなる5つの評価項目により認定されます。

労働災害・通勤途上
災害発生状況



交通KY(危険予知)研修会



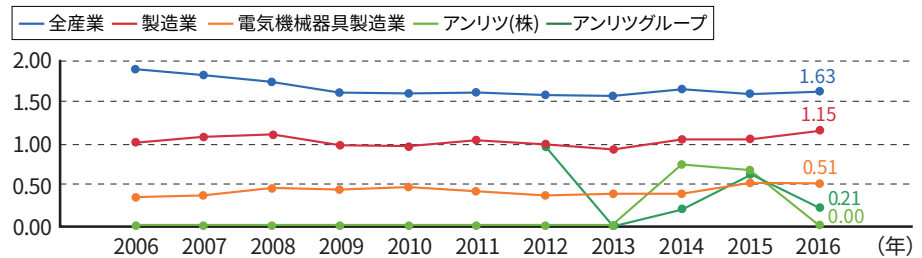
二輪車安全運転講習会

国内アンリツグループでは、災害発生「ゼロ」を目標に安全衛生活動を進めています。しかし、構内移動中のつまずき・転倒などの事象による休業災害が発生してしまい、休業災害「ゼロ」の目標は実現できませんでした。2017年度は改めて国内グループ全体での休業災害「ゼロ」を目指します。

2016年度の国内アンリツグループの通勤途上災害は8件と2015年度から1件の増加となりました、休業を伴う災害については前年度から3件減少し2件となっています。2016年度の通勤途上災害の主な要因は二輪車の利用中に起因する事故であり、二輪車通勤者のより一層の安全意識の高揚が継続的な課題と認識しています。

2016年度も、厚木警察署のご協力のもと、二輪車を中心とした「交通安全研修会」、コンピュータグラフィックスによる運転走行画像やドライブレコーダーの記録画像を活用した「交通KY(危険予知)研修会」を実施したほか、バイク通勤者向けの「二輪車安全運転講習会」も継続実施しました。2017年度も通勤途上災害の発生防止に向け一層の啓発活動に取り組みます。

▶ 労働災害度率推移(100万時間当たり)



※ 全産業、製造業、電気機械器具製造業は休業4日以上の度数率、アンリツ(株)は、休業1日以上の度数率

▶ 労働災害発生件数推移

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
アンリツ(株)	休業	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	不休	0	1	1	0	1
国内グループ	休業	4(0)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)
	不休	4	5	3	8	2

※ ()は死亡者数

健康管理



衛生週間特別教育

国内グループ社員の定期健康診断における有所見率は、全国的な統計と同様に年々上昇傾向にあります。

2016年度も、継続し若年層に対する採血検査など法定外検査項目を追加実施しています。これは、食事や運動など日頃の生活習慣の早期改善のきっかけや予防に努めてもらうことが目的です。また、ストレスチェック制度の運用をすべての国内グループ会社で実施しており、社員の心と身体の両面から健康保持・増進につなげる取り組みを行いました。2017年度は、ストレスチェック結果のデータ蓄積やストレス分析などにも取り組みを広げ、心身両面でのサポート強化に努めるほか、保健スタッフによる個別の保健指導・産業医による健康講演会・メンタルヘルス研修会の開催、外部講師による健康教室の開催などの健康啓発・健康づくり活動を進めています。

TOPICS

海外トピック (OHSAS 18001の 認証取得)

Anritsu EMEA Ltd.(英国)は2012年5月、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるOHSAS 18001 2007の認証を取得し、2015年5月に更新しました。この規格は以下の事項を支援する枠組みを規定することにより、安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。

- 健康と安全に関するリスク識別と管理
- 事故が発生する可能性を低減
- 法令遵守の補助
- 全体のパフォーマンス向上

